

プレースメントテスト

作文

Placement Examination

Composition

プレースメントテスト ID _____

名 前 _____
name

国 籍 _____
nationality

注意

辞書や教科書、インターネットなどは絶対に使わないでください。もし、そのようなものを使うと、あなたの日本語能力を正しく判定できず、あなた自身の不利益につながります。

We ask that you not use dictionaries, textbooks or the internet when writing. If you use such materials, this test(composition) cannot reflect your Japanese level correctly, which will lead to your disadvantage.

日本語日本文化教育センター
Center for Japanese Language and Culture

以下の質問 1～3 すべてについて、指示にしたがって書きなさい。

Follow the directions written in Q1~Q3 as follows. All of them are obligatory.

質問 1 (Q1)

大学でどのようなことを学びたいと思いますか。 100～200 字程度で書きなさい。

質問 2 (Q2)

次の文章を 200~400 字程度で要約しなさい。

現在、日本の 18 歳の人々が大学へ進学する割合は、50%を超えている。日本の 18 歳の人口はおよそ 120 万人であるから、60 万人以上が大学に入学しているのである。そして、そもそもすべての 18 歳の人々が大学で学ぶことを希望しているわけではないから、大学入学希望者の実際の進学率はもっと高い。というより、現在のほとんどの大学には入学試験があるものの、入る大学さえ問わなければ、どこかの大学には必ず入学できるような状況になっているのである。しかもこのような流れは、今後ますます加速すると予測されている。日本の人口は最近、停滞から減少へと局面を移しつつあり、その減少の速度は今後ますます大きくなっていく。特に若者の減少は著しく、2050 年には 73 万人、つまり現在の 6 割程度にまでなってしまうと言われていたのである。18 歳人口がこのように急速に縮小していくのに対し、大学の数はそれほど変わらない。当然ながら、大学の経営が難しくなることは、想像に難くないと思う。

このような状況が近い未来に迫っているのであるが、そのときまでに大学はどのような工夫ができるだろうか。大きく分けると、三つほど考えられる道があるのではないかと思う。

一つめは、より多くの学生に入学してもらえよう、魅力的な大学にすることである。人気のある教員を雇ったり、学生に合わせた丁寧な指導をしたり、建物や敷地を美しくしたりすることなどが代表的な手法である。スポーツや芸術などのクラブ活動が強く、盛んであることをアピールする場合もある。これは、大学の価値自体を高めることになるから、最も重要かつ基本的な方法であるということが出来る。ただしそれだけに、このようなやり方は従来から多くの大学で行われてきたことであって、これだけでは他の大学との違いを強調することは難しい。18 歳の人口が全体的に少なくなっていることを考えれば、この方法を基本としつつ、さらに別の工夫を加える必要があるのではないだろうか。

二つめは、外国からの学生、すなわち留学生に多く入学してもらおうという方法である。18 歳人口は、日本では確かに減少傾向にあるものの、世界的に見れば増加している地域は多い。そのような国から日本に留学に来てもらう、という方法である。ただしこの方法は一つめの方法に比較して格段に困難な点が多い。大学の中と外と、代表的な問題点を二つだけ挙げる。まず中の問題としては、使用する言語の問題である。現在日本のほとんどの大学ではほとんどの授業を日本語で行っているが、留学生が多くなればなるほど、日本語のレベルが高くない学生が増えるはずである。そうすると、国際的な学術用語の標準に合わせて英語で授業を行えばよいではないかということになるが、日本の大学の教員の多くは英語のレベルがそれほど高くない。またもしも教員の英語のレベルが十分であったとしても、留学生でない日本人の学生がそのレベルに達していない可能性がある。これをなんとかしようとする、高校以前の英語教育までを含めた極めて大きな改革が必要になるのである。外の問題も大きい。外国から留学生に来てもらうということは、世界中の大学と競争するというところにほかならない。日本は比較的治安が良く清潔であるなど長所も多いが、物価が高く日本語以外の言語が通じにくいという短所もある。日本の大学は、そのような、大学自身が変えられない環境の中で、世界の諸地域の大学と競っていかなければな

らないことになるのである。

三つめとして考えられるのは、18歳以上の人々に学生として入学してもらうことである。日本は22歳までの就学率（学校に行っている人の割合）は世界でもトップレベルなのであるが、その反面30歳以上の通学率は約1.6%と極めて低く、世界最低レベルである。例えばフィンランドでは30歳以上の通学率が20%程度であることと比較すると、日本の成人の大学との関係の薄さは明白であるように思う。現在の日本の人々は、ほとんどの場合、いったん大学を卒業したら、もう2度と学校には通わないのである。これには様々な理由があると思うが、社会にとっても、もちろん大学にとっても不幸なことではなかろうか。日本の大学の教育は社会では役に立たない、特に人文系の学問は役に立たない、と言われるが、私はそうは思わない。人文系の教員の多くも同様だと思う。テクノロジーがどれほど進歩しても、否進歩すればするほど、人間とは何か、文化とはどういうことか、という問題を考えることは重要になっていく。大学ではそういう知識や、その知識を深めていくための方法が蓄積されている。22歳までのまだ若い人々にだけその教育を独占させるのではなく、既に社会での生活を経験し、どのような学問が自分に真に必要なかを理解した人々にこそ大学での教育が必要であろう。そのような人々が学ぶことで、彼ら自身が成長することはもちろんであるが、彼らの社会での経験は大学をも成長させるであろう。さらにまた、そのような人々を通じて、大学に蓄積された知がその門の外に持ち出されることは、社会全体に利益をもたらすことにもなるように思われるのである。

質問3 (Q3)

課題文をふまえて、18歳人口の減少する時代に、大学はどのような改革をすればよいと考えますか。あなたの意見を、400字～600字程度で書きなさい。なるべく具体的な例を挙げ、良い面と悪い面の両面から論じるように注意すること。

